

10年前の2011年3月11日。未曾有の事態が起きた。
午後2時46分、地震が三陸沖で発生し、津波が6県の海岸に襲来。
甚大な被害を与えた。死者・行方不明者多数。

この災害の記憶を、風化させてはいけません。

震災発生当日、私は体育館で予餞会（卒業生を送る会）に出ていました。

会の終わり頃に「今、揺れたかな」という感じを覚えています。会が終了して職員室に戻り、地震や津波の情報が流れていたため、テレビのスイッチを入れると、目を疑いたくなるような光景が流れており、これは現実なのかと呆然としていた姿が鮮明に焼き付いています。

あれから10年。特殊性のある災害とも言える東日本大震災を、私たちは忘れてはいけません。犠牲になった方々とその家族ばかりではなく、復興に尽力している人たち、心の傷がまだ癒えない人たちなど、さまざまなことに対する想いをもちつつ、今日の午後に黙祷をささげたいと思います。